



## 一般検査についてご紹介します

臨床検査の中で血液検査（肝機能や貧血など）に次いで多く行われている一般検査についてご紹介します。一般検査は尿検査を中心に行っており、その他に便潜血検査、寄生虫検査、髄液検査、穿刺液検査、精液検査、痰中の好酸球検査などを行っています。

### 尿検査

尿検査は定性検査、沈渣検査、蓄尿検査、妊娠反応、薬物検査などを行っています。

#### 【尿定性検査】

代表的な無侵襲検査で多くの診療科や健診で行われ、腎尿路系の病態だけでなく全身状態を反映し病的異常のスクリーニングや治療効果判定に有用とされています。

採尿した検体（写真1）に尿試験紙（写真2）をつけて反応させ、表1の項目を機器で判定（写真3）します。

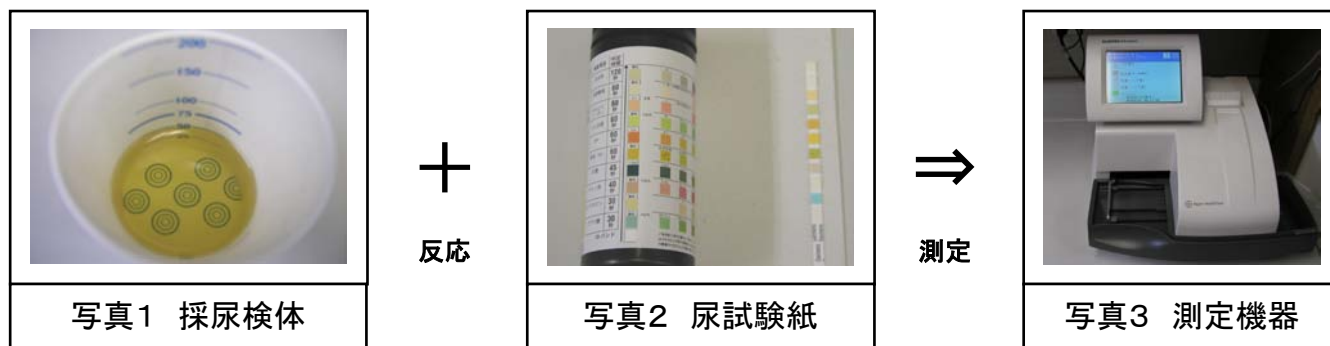
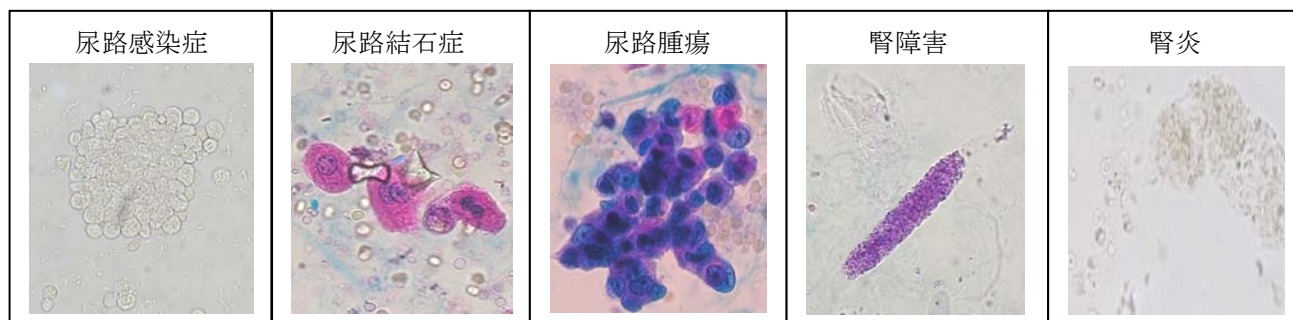


表1

尿定性検査項目	結果から考えられる病態
PH	酸性尿（アシドーシス）、アルカリ尿（アルカローシス、尿路感染症）
比重	低比重（尿崩症、急性腎不全）、高比重（糖尿病、脱水）
蛋白	腎疾患、妊娠中毒
ブドウ糖	糖尿病、慢性膵炎
ケトン体	糖尿病、飢餓、嘔吐や下痢
ビリルビン	胆道閉塞、肝炎、肝硬変
ウロビリノーゲン	溶血性貧血、肝炎、肝硬変、便秘
潜血反応	腎疾患、腎尿路腫瘍、結石症、尿路感染症
白血球反応	尿路感染症、腎尿路の炎症性疾患
亜硝酸塩	尿路感染症

## 【尿沈渣検査】

尿沈渣検査は遠心分離器を用いて尿中の有形成分を沈殿させ顕微鏡で観察します。沈渣の有形成分の有無から尿路感染症、結石症、腫瘍、腎障害などの病的異常のスクリーニング、診断、治療効果判定に有用とされています。



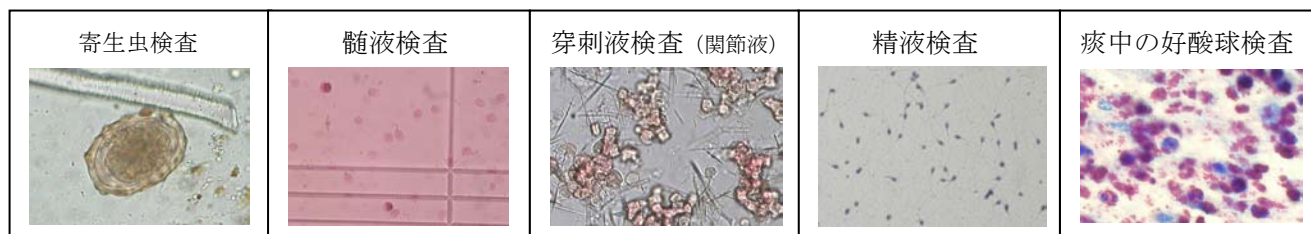
\*写真は病態が疑われる尿沈渣像の一例です。

【蓄尿検査】 24時間の尿を貯めて検査することでより正確な成分測定ができ腎機能の評価に有用な検査

【妊娠反応】 尿中のHCG（ヒト絨毛性ゴナドトロピン）を検出し妊娠や絨毛上皮腫などの診断に有用な検査

【薬物検査】 精神作用物質による急性中毒、又、その依存性が疑われる場合に有用な簡易検査

<b>便潜血検査</b>	便に血液が混じっているかどうかを調べ、大腸癌のスクリーニングに有用な検査 四つ葉のクローバー第37号で詳しく紹介していますのでご参照ください。
<b>寄生虫検査</b>	主に糞便中の虫体や虫卵を検出することで消化管寄生虫の診断に有用な検査
<b>髄液検査</b>	中枢神経系（脳、脊髄）の感染症（髄膜炎）の診断、治療判定に有用な検査
<b>穿刺液検査</b>	胸水、腹水、関節液などの性状から炎症性か非炎症性かの鑑別に有用な検査
<b>精液検査</b>	精子の数や運動率などを調べて男性不妊の診断や治療の経過観察に有用な検査
<b>好酸球検査</b>	痰中の好酸球検出は過敏性肺炎や喘息などのアレルギー疾患の診断に有用な検査



\*写真は各検査で見られる顕微鏡像の一例です。

「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。

